

編集後記

編集委員を拝命してから「プラズマ」という言葉が気になるようになった。委員の仕事として学会誌の記事を企画する義務があることから意識するようになったのだが、果たしてプラズマというものは広く知られているだろうか？

「プラズマって何ですか？」と質問はあっても、「レーザーって何ですか？」と聞かれることは無くなった。例えば、プラズマとは物質の三態に続く第四の状態で原子がイオンと電子に分かれた、と進んでいくと難しい顔をされるか苦笑いの後に話が終わってしまう。また、知っているものを例えて、雷や蛍光灯が光っている状態です、とすれば電気が放電していることと理解されたかな？と不安になる。プラズマが「物体」ではなく「状態」であり、身近な生活の場から見えないことが説明と理解の間の敷居を高くしている原因かもしれない。例えば、プラズマテレビは売り場から消え、蛍光灯はLED照明に活躍の場を奪われている。プラズマの名をもつ空気清浄機やエアコンが除菌効果

を謳って人気だが、プラズマは除菌効果を表す言葉では決してない。

対するレーザーには実体のある機器が存在し、周辺を見回してみると関係するものも多い。光ディスク、ポインター、プリンター、スキャナー、医療メス、照明等々、情報通信、医療、娯楽他、生活に関わる多くの場面で触れる機会がある。メジャーリーグベースボールのイチロー選手の外野から返球は「レーザービーム」と呼ばれている。一直線に届く正確な返球を例えたもので、レーザーの性質を正確に例えている。

テレビのニュースキャスターがレポートの最後に「まるでプラズマの様でしたね」と言ったとき、何の例えになっているのだろうか？除菌的な役割だろうか？プラズマに関わる者としては、それがエネルギーや生命力に満ちた活動的な状態の例えになれば良いと思う。もちろん、プラズマが馴染みの言葉になるには、言葉の壁を克服するだけでは足りないかもしれないけれど。(石野雅彦)

プラズマ・核融合学会役員

会 長：吉田 善章 副会長：白谷 正治(推薦委員長：学会賞) 森 雅博(推薦委員長：研究助成, 男女共同参画委員長)
常務理事：下妻 隆(総務委員長)
理 事：浅野 克彦(財務委員長) 浅野 史朗 上田 良夫(年会運営委員長)
内野喜一郎(支部・地区研究連絡会委員長) 大野 哲靖 小野 靖
岸本 泰明(研究部会連絡委員長) 久保 博孝(広報委員長) 坂本 瑞樹(企画委員長)
神野 雅文 竹入 康彦 中井 光男
波多野雄治(編集委員長) 長谷川 晃
監 事：利根川 昭, 中村 圭二

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：波多野雄治(富山大) 副委員長：坂本瑞樹(筑波大)
エディタ：金子俊郎(東北大), 江尻 晶(東大), 中村祐司(京大), 城崎知至(広島大), 小西哲之(京大), 酒井 道(滋賀県立大)
編集委員：青木 順(阪大), 石野雅彦(量研), 伊藤篤史(核融合研), 伊庭野健造(阪大), 小倉浩一(量研), 荻野明久(静岡大), 尾崎 哲(核融合研), 加藤 進(産総研), 神吉隆司(海上保安大), 古閑一憲(九大), 小菅佑輔(九大), 佐々木徹(長岡技術科大), 佐藤雅彦(核融合研), 染谷洋二(量研), 高橋裕己(核融合研), 高橋光俊(助川電気工業), 竹内 希(産総研), 龍野智哉(電通大), 西塚直人(NICT), 藤井恵介(京大), 星野一生(量研), 三重野哲(静岡大理), 三沢達也(佐賀大), 村上朝之(成蹊大), 柳 長門(核融合研), 吉橋幸子(名大), 渡邊裕樹(首都大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第93巻第10号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2017年(平成29年)10月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。